

## 教育委員会定例会（平成19年2月）会議録

1.日 時	平成19年2月1日(木) 16:00 ~ 17:00
2.場 所	新居浜市庁舎3階 応接会議室
3.出席者	委員長 太田 恵理子 委員 栗田 敬子 小野 正師 宇野 征一 教育長 阿部 義澄 事務局長 鎌田 眞太郎 総括次長 池内 貞二 次長 佐藤 弘美子 課長 高橋 康文 岩崎 幸夫 近藤 清治
4.教育長の 一般報告	(1) 1月分行事報告及び2月分行事予定について
5.記録者氏名	社会教育課 日野 里美
6.会議の概要	<報告> 教育長報告  <議案> 議案第2号 新居浜市立公民館長の任命について(原案可決)

太田委員長	<p>それでは定刻が参りましたので、平成19年第2回新居浜市教育委員会定例会を開催致します。本日の会議録署名委員は、栗田委員さん、小野委員さんをお願い致します。会期は本日一日限りと致します。前回平成19年第1回の定例会会議録の承認は栗田委員さん、宇野委員さんにご署名を頂いております。それでは教育長さんからの一般報告をお願い致します。</p>
阿部教育長	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>1月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>12日 郷土美術館企画展の「work &amp; play 加藤繁義展」が、23日までの期間開催され、1,499人の鑑賞者がありました。加藤氏の市の職員としての関わりから、市のこれまでの発展の節目節目での思い出深い作品が見られました。</p> <p>13日 平成16年度の「子どもと教育を語るつどい」で提案された、平成18年度第2回新居浜市小・中学生科学奨励賞発表会が開催されました。今年は小学生162点、中学生64点の226点の生活を感じさせる貴重な研究成果が報告されました。このうち、特選6組、優秀賞30組が表彰され、特選に選ばれた研究につきましては、研究発表がされました。昨年度より55点の研究成果の増加となり、新居浜市内の児童生徒の科学に対する意気込みを感じました。ぜひとも子どもたちの意気込みを育てていきたいものです。実施にあたり、新居浜ロータリークラブ、新居浜南ロータリークラブ、住友化学愛媛工場、愛媛県総合科学博物館、新居浜工業高等専門学校等のご協力をいただきありがとうございました。また、埋蔵文化財発掘調査現地説明会が、庄内町5丁目の発掘現場で行われました。古墳時代から中世にかけての遺跡である「上小深遺跡」の建物1棟の柱穴や、出土した須恵器などの遺物も展示、また、昨年度まで調査をした政枝遺跡の出土品も合わせて紹介いたしました。文化財に興味のある市民約50人の参加者があり、多くの質問があり熱心に見学していただきました。</p> <p>18日 平成18年度から22年度までの5年間に講ずべき陸上交通の安全に関する施策を具体的に定める「第8次新居浜市交通安全計画」の策定が予定され、新居浜市交通安全対策会議が開催されました。</p> <p>20日から21日 四国地区体育指導委員研修会が丸亀市で開催され、本市からも14名の体育指導委員が参加いたしました。開会式の中で、四国地区体育指導委員協議会会長表彰があり、本市から船木校区増田北生さん、神郷校区石川明美さんが受賞されました。</p> <p>21日 「町の救命士」と題して、少年補導委員研修会が開催されました。参加された補導委員さんはAEDの使用方法・人工呼吸の仕方などを熱心に受講されました。これからの補導活動の中で生かされるものと期待しております。</p>

25・26日 教育委員の研修が行われ、金沢市教育委員会・金沢市立材木町小学校を訪問させていただきました。金沢市教育委員会では、「学校教育金沢モデル」を実践中であり、学校教育指導基準金沢スタンダード、小中一貫英語教育、二学期制等の実施について、また、材木町小学校では、小学校英語教育の授業参観や学校長との懇談会が実施されました。新居浜市の取組において大変参考となりました。また、子どもたちの夢や願いを達成するためには、関わっている教師や親の意識改革が前提であることも再確認できました。

28日 平成18年度新居浜市愛護班活動研究大会が開催されました。講演として「子育て、親育ち」と題して、松山東雲女子大学教授塩崎千枝子先生の話がありました。第22回新居浜凧あげ大会が、青少年健全育成のための事業として、愛護班を中心とする実行委員会が主催する地域住民の自主的活動として実施されました。凧づくり教室などで、製作された手作りの凧での競争がおこなわれ、世代間の交流が図られました。凧あげには絶好の日和の中で実施され、ユニークな手作りの凧が156統と約450人の応援者の参加を得て楽しく開催されました。

30日 国際ソロプチミスト新居浜さんが実施されたバザー収益から、あすなる教室へパーソナルコンピュータ、ホワイトボード、教材展示パネルが寄贈されました。通級する児童生徒への活用を期待しています。

その他 2月の主な行事予定について報告を申し上げます。

3日 第25回新居浜市社会福祉大会

4日 多喜浜校区「少年の日を祝う会」

6日 新居浜市伝える力を育てる教育特区「表現科」自主研修会発表会が大生院小学校で開催されます。

9日 新居浜こども美術展（郷土美術館）16日まで開かれます。同日、愛媛県就学前小中学校人権・同和教育研究指定校研究発表会が金栄小学校で実施されます。

11日 第48回新居浜市民マラソン大会、新居浜市PTA連合会研究大会が開催されます。

14日 校区别人権・同和教育懇談会運営委員会反省会が行われます。

17日 第1回「震災を知らない子どもたちのリーダー研修」として、淡路島、神戸市の「人と防災センター」等へ新居浜市内の子どもたちと参加いたします。

25日 新居浜市公民館研究大会

28日 平成18年度優秀教員表彰式が行われる予定です。

以上で報告を終わります。

太田委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の一般報告についてご質問、ご意見はございませんか。</p>
栗田委員	<p>小・中学生科学奨励賞発表会についてですが、素晴らしい発表会だったと思います。科学だけでなく、親子の絆、おじいちゃん・おばあちゃんと孫との絆を感じさせるような内容になっていて、涙が出るような感じがいたしました。あれだけで終わらせるのはもったいない感じがしますので、もう少しいろいろなところで市民の皆様にも広まれば良いなと思いました。それと一つ質問ですが、キャリア・スタート・ウィーク事業の準備はどのような状況ですか。</p>
高橋学校教育課長	<p>はい、現在5日間の職場体験の準備を進めています。受け入れ先につきまして推進協議会を設けて協議を進めているところであります。</p>
太田委員長	<p>この推進協議会ではどのような事が協議されたのか、また教えてください。他にご質問ございませんか。</p>
栗田委員	<p>2月17日に予定されている「震災を知らない子どもたちのリーダー研修」に行く人数等教えてください。</p>
池内総括次長	<p>はい、これは「新居浜市こども夢未来基金」の関係で18年度に予算化をさせて頂き、バスを1台借りて行く予定にしております。各小学校へ2名程度という事で、現在参加者を集約中です。子ども40名程度と教育長・私・関副課長・曾我副課長が同行し淡路島・神戸市の記念館等を訪れ、勉強することとなっております。</p>
太田委員長	<p>またその成果をお聞かせ下さい。その他ございませんか。</p> <p>それでは議案に入りますが、議案第2号新居浜市立公民館長の任命につきましては、人事案件ですので後ほど非公開で審議を致したいと思います。その他報告事項がありましたらお願い致します。</p> <p>それでは、先程の教育長さんの一般報告にもありましたが、先月25日・26日に教育委員4名と阿部教育長・池内総括次長の6名で、金沢へ研修に行かせて頂いたのですが、金沢市の教育委員会で、石原多賀子教育長さんから直接、金沢市の教育についてお話をうかがいま</p>

<p>宇野委員</p>	<p>した。翌日、材木町小学校で、素晴らしいTeam Teaching、2人の先生共同での授業を見せて頂き、とても感銘を受けました。各委員さんそれぞれ感想があると思いますので宇野委員さんからお聞かせください。</p> <p>はい、金沢で研修をさせて頂いて、“目からウロコ”というような感じで目が覚めたような授業や教育委員会の取り組みを強く感じました。特に、材木町小学校を訪問させて頂いて、子どもの素朴さの中の穏やかな優しい表情にドキッとしました。子どもらしさの中に穏やかさがあるという感じで、地域がそうさせるのかなと感じました。</p> <p>そして、6年生の英語の授業で、英語力がズバ抜けた若い女性の先生とベテランの年配の女性の先生とがペアを組んでTTの授業を見せてくれました。今までは、TTが必要なのかなと思うような授業しか見てなかったのですが、2人の先生の息がぴったり合った、お互いの役割をわきまえ、実践してその後打ち合わせや反省を積み重ねてきているような見事な授業でした。子どもたちもいきいきとしていて英語力の高さに驚きました。小学生で、あれだけの発音と学習が出来るのかと思い、新居浜も真似しないといけないのかなという感じを受けました。</p> <p>それともう一つ、その学校での研究課題にしているのが“ノートでの学力向上”というもので、非常に分かり易い研究テーマを設定して全校で取り組んでいます。ノートでの学習改善は新居浜でもそれぞれの教科で取り組んでいるのですが、全校体制として取り組んで、学力向上を目指しています。そういう具体的な研究の実践を通して、学力の向上を望めるであろうし、それぞれの文章力も付き、表現力も高まると思います。またノートを家庭に持って帰るので、学校と保護者の信頼関係ができ、子どもと先生との人間関係ができ発展していきます。とかく難しそうなお研究テーマを掲げ研修をするものですが、非常に分かり易いので、こういう方法もあるのだなと思いました。</p> <p>我々にあのような素晴らしい授業を見せて頂いた研修だったのですが、現場の先生に見せてあげられたら、ものすごく値打ちがあるのにと感じました。例えば、TTの授業をビデオに撮って、その授業のやり方を持って帰れたらよかったのにと感じました。非常に素晴らしい研修をさせて頂きました。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>小野委員さんいかがでしょうか。</p>

<p>小野委員</p>	<p>今、「金沢の教育」というパンフレットが手元にあるのですが、これには、金沢の教育方針・教育理念が書かれてあり、金沢が子どもたちにどういう教育をしたいのか、パンフレットを通して、石原教育長自ら具体的に説明を頂きました。大変わかりやすく、しっかりPRが出来ているなと感じました。例えば学校2学期制について、新居浜においても2年ほど前に検討した際には十分に理解できなかった面が、金沢に行って、どういう趣旨でされているのか大変わかりやすくご説明を頂きました。</p> <p>そして小・中一貫英語教育について、私自身は小学生に英語教育が本当に必要なのか、例えばパソコンの教育は小学生から必要なのか疑問があったのですが、実際金沢でされている英語教育を勉強させて頂き、大変素晴らしい取り組みであると感じました。金沢市として“世界都市・金沢”というまちづくりの目標が大きく掲げられていますので、その目標に向かって小学3年生から英語教育を始めるということです。もう一点驚きました事は、中学生の英語副読本で金沢の歴史・文化・伝統・金沢市の偉人を全て英文で紹介されていて、中学生向けに自分たちの町に誇りと自信を持てるような内容となっていました。そして、そのことを中学生の子どもたちにきちんと教えられていました。それを元に中学生たちが金沢に観光に来られた外国人に、気軽に英語で話かけて町の観光案内をされているようです。自然な形で英語に触れ、同時に自分たちの住んでいる町を正しく評価出来るという教育が、上手く一体化されていたので大変感心致しました。新居浜も参考にして取り入れることのできるものがありましたら是非お願い致します。</p> <p>それと「かけはし」というパンフレットがございますが、これは教育委員会と金沢の家庭・地域を結ぶ情報誌で、これも大変わかりやすく簡明に書かれていますので是非ご参考にして頂きたいと思います。</p> <p>最後に、宇野委員さんのお話にもありましたが、毎年我々教育委員が研修をさせて頂いております。いろいろな所・学校へ行くと大変勉強になるのですが、今回特に感じましたのは、やはり現場を扱っている現職の先生方にも人数は限られるかもしれませんが、是非一緒に勉強や研修をして頂き、そのまま自分たちの学校の中にフィードバックができるような機会を作って頂けるとありがたいなと思います。具体的には教育委員4名おりますが、限られた予算内ですので、例えば2名ずつ委員長と委員長職務代理といった形で参加させて頂いて、2名は現職の若手の教頭先生方や事務局の指導主幹というように先生方にも研修のチャンスを作って頂けたらなと思いました。以上、感想でございます。</p>
-------------	--

太田委員長	はい、ありがとうございました。栗田委員さん。
栗田委員	<p>はい、お二人に十分お話頂きましたので重複になるかも知れませんが、金沢でなぜ英語かというところで、小学生の発達段階ということをお話を教育長さんが言われていました。中学生になって思春期で英語でのやりとりが恥ずかしくてなかなか出来にくいという感じで、新居浜で授業を見学させて頂いた時にも黙ったような英語の授業がありましたので、やはり子どもたちの発達段階に応じたものを新居浜市でも考えなくてはならないと思っております。</p> <p>今お二人も言われたように、去年の東京の品川の時でも、目からウロコ状態でしたが、それがなかなか伝わりません。自分たちは感激したのですが、“百聞は一見に如かず”という言葉がありますように、現場の先生方が参加されることによってこの感動がより伝わりやすいと思います。いくら一生懸命ここで説明し、会議録で言葉になって出てなかなか難しいところがございますので、先程も小野委員さんが言われましたように、次回現職の先生方の参加も少ない財源の中から考えて頂ければありがたいと思います。以上です。</p>
太田委員長	<p>はい、ありがとうございました。私も言いたい事は各委員さんが言われましたのでまとめになりますが、良い学校を見る機会を私どもに与えてくださって、それを新居浜市の学校にも何とかお伝えしたいのですが、言葉で言うだけでは本当に限界があります。</p> <p>金沢市の石原教育長さんも英語の一貫教育を始めるにあたって、中国の姉妹都市関係にある都市へ先生を派遣されて、母国語でないところでの英語教育を視察し、中国での教育のレベルの高さにショックを受けられたそうです。そして、この教育を金沢でも一生懸命しようと先生方が思われて実現されたというお話をうかがいました。新居浜でも先生方に“頑張ろう”と思って頂けるような研修体制を作らなければいけないのかなと思いました。</p> <p>今現在、先生方もいろいろな研修をされていると思いますが、実際に良いモデル・良いものを見てくるというような機会がどれくらいあるのか、今の学校の先生方の研修の実態等がわかりましたら教えていただくとありがたいのですが、いかがでしょうか。</p>
阿部教育長	はい、県の職員については旅費の付かない研修は出張させる事が出来ないという規定があります。平成16から17年度にかけて減っています。やはり県が財政難ですので。研修についても、我々が調べて

どこそこの学校へ行くという形での研修は認められていません。県の大会へ行くのは各校1名ずつといった形や、修学旅行、少年自然の家、中学校であれば県総体への引率といった旅費でほとんど無くなってしまいます。生徒を引率するのも教員の力量を高める一つですが、純然たる教育研究である他の学校を見るという視察研修には予算が当てられてないのが現状です。それで18年度の状況ですが、今現在は若干減ってきています。金沢ではどうしているのかわからないですが、石原教育長さんがよく“モチベーション”という言葉が使われていましたが、そのあたりのとらえ方を教育長の私自身反省させられました。旅費の件はここまでとさせて頂き、私も研修に行きましたので感想を言わせて頂きます。前もって金沢市の石原教育長さんとお話させて頂いたことがあり、興味と感心がありました。英語教育もそうですが、不登校問題が一番頭に残っております。新居浜市の小学校での不登校は少ないです。しかし材木町小学校は約400名の生徒数で、不登校は過去4年間で0人でした。なぜゼロなのかと思い、学校の雰囲気を見せてもらいました。“ひとりの子を見つめ愛する。その子が大切にされている姿を大勢の子が見ている。この先生なら私も愛されると思う安心感が一人一人の子の安心感を醸し出し教育活動全てが良い循環を始める。”これは校長室に掲げられていた言葉です。教室へ行きますと、“たった一人でスタートをきる強さと最後の一人を迎えるやさしさを”別の壁には“心を耕して知識の種をまけ。やさしさと強さを肥料に人間という花を咲かそう。”違う場所に“価値ある考えを求めて All to me からの脱却”“全面肯定から部分肯定へ”“同じ部分はどこなのかしぼって発言に生かそう”“突き詰めて価値ある考えへ - 練り上げ・突き詰め、つまり～に到達しよう。”“まとめには学びを - 初めの考えは～、今の考えは友達から学んだ考えや言葉は自分自身に問いかけ表現していこう。”“話し合いの手ごたえは 次に頑張りたいことは”“柔らかな言葉 やるべきことの自覚”“言われてする、させられてするから、自らする姿を期待しています。”“良い子はみんな本が好き”こういう風な言葉が教室中いろいろなところに掲示されています。特に初めの方に読んだ“たった一人で・・・”“心を耕して・・・”“価値ある・・・”という3つの言葉は、全面の黒板の上にあります。そういう言葉の中で子どもたちは生活をしています。研究授業を見せてもらって帰る際、教室の後ろのロッカーに道具をしまいにくる子どもたちから何人もすれ違いざまに“ありがとうございました。”と言われました。授業を見せてもらっている我々に対して、“授業を見ていただきありがとうございました。”と子どもたちから声をかけてくるのを見て、育っているなど感じるとともに、この学校の一人一人の持つ子どもたちの優しさを感じ、不登校がゼロなのは当然だ、このような学校を作らなければ不登校はなくなるのではないかと思います。



	<p>た。今まで、教育委員会として最重要課題として、あすなる教室等いろいろな取組みをしてきました。相談員という仕組み作りもしてきましたが、不登校をなくする素は学校の中にあるのではないかと思いましたが、やはり一人一人を見つめる教師の姿であり、一人一人の友達を見る子どもたちをつくること、不登校をなくす、遠そうでは実は一番近い方法ではないかという気が現在もしております。</p> <p>先ほど4人の委員さんから言われましたが、与えられた出張ではなくて、自ら研修する、そういう目を開かせる出張・研修は意義があると思っております。また、そういう学校を体感することによって教師は新居浜の学校・新居浜の子どもたちを変えることができるのではないかという気持ちも持っています。不登校問題に対しての材木町小学校の取組みは、私自身に対してヒントを与えてくれたと思っております。ありがたいと思っております。</p>
太田委員長	<p>ありがとうございました。池内総括次長も行かれたのですが、感想をお願いします。</p>
池内総括次長	<p>私も今回、委員さんと一緒に研修させて頂きました。私もいろいろ感銘を受け、また感動いたしました。皆さんが言われましたし、時間の都合もありますので割愛させていただきます。今回の研修は、委員の皆さんが言われましたように、非常に有意義な研修であったと思います。研修地の金沢の駅を出発し、新居浜駅までの約6時間、委員の皆さんが、研修で学んだことを何とか新居浜の子どもたちに伝える方法はないか、現場の先生にも研修する機会を与えることはできないかという話を熱心にされていました。それだけ素晴らしい研修ができたのだと思っております。先生の研修につきましては、いい方法があるかどうか今から調べて検討したいと思っております。何とか19年度は委員さんと先生の合同チームでの研修を実施できるよう検討させて頂きたいと思っております。</p>
太田委員長	<p>ありがとうございます。限られた予算なので有効に使えますように、ぜひ現場の先生方に研修していただけるようご検討をお願いいたします。</p>
栗田委員	<p>すみません。先ほどの教育長の発言で、先生の出張が研究大会等のみというのを聞いて驚きました。研究大会となると、学校も飾ってし</p>

<p>太田委員長</p>	<p>まうと思います。“学校へ行こうディ”のような普段のままの学校を見に来る研修が大切だと思いますので、ぜひご検討をお願いいたします。</p>
<p>宇野委員</p>	<p>はい、宇野委員さん。</p> <p>金沢市に行かなければ、新居浜の子どもたちを育てられないかといえば、そうではなくて、ノートは新居浜にもありますし、先ほど小野委員さんが「かけはし」の話をされましたが、各学校には、学校通信があります。今現在、現場にあるものを見直しをすることによって、また変わると思います。先進地を見ることは大事なことです。材木町小学校のTTの授業が素晴らしかったというのは、先生も英語の勉強をしている、英語が堪能な先生と一緒にしながら、学級の先生も英語の勉強を子どもたちと一緒にしている。だから、先生もいきいきしているし、子どもたちもいきいきしている。それからノートに関しては、それ自体素朴なものです。先生たちは毎日ノートと接しながら、子どもたちのノートが変わっていている、あるいは親の見方が変わってきているという手ごたえを感じるによって、その学校の先生は全員いきいきしているのだと思います。そういう風なことが、不登校ゼロにも繋がって暖かい雰囲気になっているのだと思います。</p> <p>先進地を見ることは大事なことです、新居浜に今あるもので活用できるもの、見直すべきものがあると思います。前向きに子どもたちと先生と一緒にやることによって、子どもたちがずいぶん変わるものだなと思いました。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>素晴らしいものを見てきたということは、伝わったとは思いますが、具体的にわかりにくいと思います。なぜ、こんなに皆さんが材木町小学校を見て感動しているかというと、この学校には「育ちが見える」という基本理念があり、どのように“育ち”を見るかという手段としてノートが使われています。ノートというのは、思考・判断・学びの意欲が表現されるものだと位置づけられています。そのノートを観察していくことによって、子ども自身が自分の成長したことがわかり、親もノートを見て子どもが変化していることがわかる、教師もそれを見てこのような授業をしたらこのような変化があったということがわかる、みんなが進歩していることがわかるような仕組みをうまく作られていて、そこに非常に感銘を受けました。そういう感銘を現場の先生に受けて頂きたいと思います。</p> <p>その他、報告事項がなければ、非公開での審議に入ります。その前</p>

太田委員長	<p>に、次回の定例会の日程は3月8日16時からと致します。</p> <p>これを持ちまして第2回新居浜市教育委員会定例会を一度閉会致します。ありがとうございました。</p> <p>&lt;非公開により審議&gt;</p> <p>以上を持ちまして本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。</p> <p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p>
-------	---

--	--